



あいかわ 議会だより

第 155 号

平成29年11月15日発行

責任者 議会議長 小島 総一郎
年4回発行・本号18ページ



利用者が20万人を達成した子育て支援センター

平成28年度 決算議案を認定

P6

愛川町議会会議規則の一部改正など

3件 (9月定例会2件、10月臨時会1件) の議員提出議案を可決

P3・4・7

議会役職人事を改選

P2・3

※町議会では議会だよりに使用する写真を募集しています。詳しくは17ページをご覧ください。

〈第3回9月定例会・第1回10月臨時会〉

○発行/愛川町議会 編集/議会だより編集委員会 〒243-0392 神奈川県愛甲郡愛川町角田251-1 046-285-6927(直通) 046-285-2111(代表)

議会メールアドレス gikai@town.aikawa.kanagawa.jp 町HPアドレス <http://www.town.aikawa.kanagawa.jp/>

人事決定

会、各常任委員会など



井出 一己 副議長



小島 総一郎 議長

※議席番号順



鈴木 信一
1 期目
日本共産党
愛川町議員団



熊坂 崇徳
2 期目
みらい絆



岸上 敦子
1 期目
公明党



阿部 隆之
1 期目
新風あいかわ



井出 一己
3 期目
公明党



渡辺 基
3 期目
新風あいかわ



小林 敬子
4 期目
日本共産党
愛川町議員団



木下 眞樹子
2 期目
みらい絆

第1回 臨時会

10月24日(火)に、平成29年第1回愛川町議会臨時会が開かれました。この臨時会では、正副議長をはじめ、議会選出監査委員、議会運営委員会委員及び各常任委員会委員の選任などを行うとともに、条例の一部改正議案の審議が行われました。

議長に小島総一郎氏 副議長に井出一己氏

(敬称略)

議会運営委員会	
(委員定数 8人以内 ◎委員長 ○副委員長)	
◎馬場 司	○佐藤 りえ
山中正樹	井上博明
鈴木信一	木下眞樹子
熊坂崇徳	渡辺基

(敬称略)

会派構成(◎は代表者)	
新風あいかわ	◎佐藤 茂 熊坂 弘 久之 渡辺 基 阿部 隆
愛政クラブ	◎馬場 司 小倉 英 嗣 山中 正 樹
公明党	◎井出 一己 佐藤 りえ 岸上 敦子
日本共産党 愛川町議員団	◎小林 敬子 井上博明 鈴木 信一
みらい絆	◎熊坂 崇徳 小島 総一郎 木下 眞樹子

※平成29年11月1日時点

議会役員

正副議長、議会運営委員



渡辺 基 監査委員

監査委員

監査委員は、識見を有する者と議会議員で構成しており、議会選出の監査委員に、渡辺基議員を選任することに同意を



山中 正樹
4期目
愛政クラブ



熊坂 弘久
3期目
新風あいかわ



佐藤 りえ
2期目
公明党



佐藤 茂
3期目
新風あいかわ



井上 博明
9期目
日本共産党
愛川町議員団



小島 総一郎
6期目
みらい絆



小倉 英嗣
5期目
愛政クラブ



馬場 司
4期目
愛政クラブ

条例改正

◎愛川町議会委員会条例の一部改正

(賛成全員)

議会基本条例では、「町民参加による開かれた議会を実現するため、議会情報の積極的な公開及び提供に努めなければならない」とされていること

求める議案が提出され、賛成全員で同意しました。

その他人事関係

◎厚木愛甲環境施設組合議会議員の選挙

申し合わせの任期満了に伴い、厚木愛甲環境施設組合議会議員の選挙が

専決処分の承認・報告

◎平成29年度愛川町一般会計補正予算(第2号)

◎施設管理の瑕疵に係る損害賠償

から、議会の広報広聴活動の推進のための調査研究を専門に行う「広報広聴常任委員会」を設置する所要の改正をしました。【施行期日 公布の日】

(敬称略)

(敬称略)

(敬称略)

広報広聴常任委員会	
(委員定数 10人 ◎委員長 ○副委員長)	
◎熊坂 崇徳	○阿部 隆之
岸上 敦子	鈴木 信一
佐藤 茂	佐藤 りえ
山中 正樹	木下 眞樹子
小林 敬子	馬場 司

教育民生常任委員会	
(委員定数 8人 ◎委員長 ○副委員長)	
◎山中 正樹	○鈴木 信一
佐藤 茂	佐藤 りえ
熊坂 弘久	木下 眞樹子
井出 一己	小倉 英嗣

総務建設常任委員会	
(委員定数 8人 ◎委員長 ○副委員長)	
◎井上 博明	○岸上 敦子
阿部 隆之	熊坂 崇徳
小林 敬子	渡辺 基
馬場 司	小島 総一郎

会派 議決一覧表 (平成29年第3回9月定例会)

※議長は表決には加わりません。 各会派賛否 ○…賛成、●…反対

議案番号	議案の件名	愛政クラブ	公明党	共産党	みらい絆	新風あいかわ	熊坂弘久議員	議決結果
		馬場議員 小倉議員 山中議員	井出議員 佐藤りえ議員 岸上議員	小林議員 井上議員 鈴木議員	熊坂崇徳議員 小島議員 木下議員	渡辺議員 佐藤茂議員 阿部議員		
町長提出 第30号	教育委員会委員の任命について	○	○	○	○	○	○	同意
町長提出 第31号	教育委員会委員の任命について	○	○	○	○	○	○	同意
町長提出 第32号	平成28年度愛川町一般会計歳入歳出決算の認定について	○	○	○	○	○	○	認定
町長提出 第33号	平成28年度愛川町国民健康保険特別会計歳入歳出決算の認定について	○	○	○	○	○	○	認定
町長提出 第34号	平成28年度愛川町後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算の認定について	○	○	●	○	○	○	認定
町長提出 第35号	平成28年度愛川町介護保険特別会計歳入歳出決算の認定について	○	○	○	○	○	○	認定
町長提出 第36号	平成28年度愛川町下水道事業特別会計歳入歳出決算の認定について	○	○	○	○	○	○	認定
町長提出 第37号	平成28年度愛川町水道事業会計剰余金の処分及び決算の認定について	○	○	○	○	○	○	認定
町長提出 第38号	平成29年度愛川町一般会計補正予算(第1号)	○	○	○	○	○	○	可決
町長提出 第39号	平成29年度愛川町下水道事業特別会計補正予算(第1号)	○	○	○	○	○	○	可決
陳情 第5号	義務教育に係る国による財源確保と、35人以下学級の着実な実施・進行をはかり、教育の機会均等と水準の維持・向上並びにゆきとどいた教育の保障に関する陳情	○	○	○	○	○	○	採択
陳情 第6号	「薬害肝炎救済法の延長を求める意見書」の採択を求める陳情	○	○	●	○	○	○	趣旨了承
陳情 第7号	「全国森林環境税の創設に関する意見書採択」に関する陳情	○	○	○	○	○	○	趣旨了承
議員提出 第2号	義務教育に係る国による財源確保と、35人以下学級の着実な実施・進行をはかり、教育の機会均等と水準の維持・向上並びにゆきとどいた教育の保障を求める意見書の提出について	○	○	○	○	○	○	可決
議員提出 第3号	愛川町議会会議規則の一部を改正する規則の制定について	○	○	○	○	○	○	可決

※陳情第6号、第7号は、委員長報告「趣旨了承」に対する賛否です。

会派 議決一覧表 (平成29年第1回10月臨時会)

※議長は表決には加わりません。 各会派賛否 ○…賛成、●…反対

議案番号	議案の件名	愛政クラブ	公明党	共産党	みらい絆	新風あいかわ	熊坂弘久議員	議決結果
		馬場議員 小倉議員 山中議員	井出議員 佐藤りえ議員 岸上議員	小林議員 井上議員 鈴木議員	熊坂崇徳議員 小島議員 木下議員	渡辺議員 佐藤茂議員 阿部議員		
町長提出 第40号	専決処分の承認について(平成29年度愛川町一般会計補正予算(第2号))	○	○	○	○	○	○	承認
町長提出 第41号	監査委員の選任について	○	○	○	○	○	○	同意
議員提出 第4号	愛川町議会委員会条例の一部を改正する条例の制定について	○	○	○	○	○	○	可決

平成28年度各会計決算を認定

平成28年度 各会計決算額

会 計	歳 入	歳 出	
一 般 会 計	124億3,574万3千円	119億5,807万5千円	
特 別 会 計	国 保	63億4,393万9千円	62億6,872万3千円
	後 高 期 者	4億10万8千円	3億7,961万8千円
	介 護 保 険	26億6,517万9千円	25億5,511万5千円
	下 水 道	13億2,379万5千円	13億423万8千円
企 業 会 計	水 道	6億2,686万5千円	8億4,947万4千円
合 計	237億9,562万9千円	233億1,524万3千円	

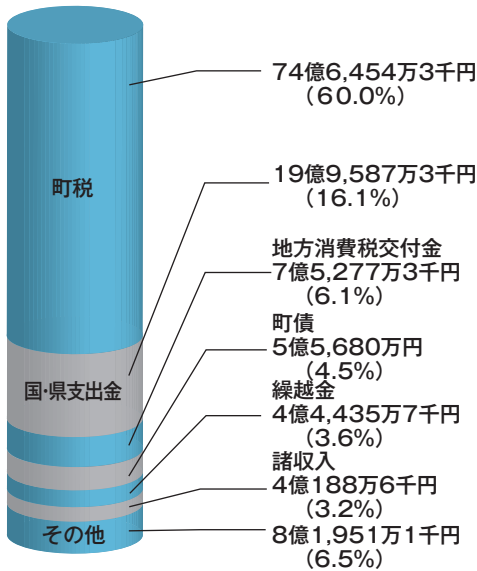
- ◎ 一般会計歳入歳出決算の認定
- ◎ 国民健康保険特別会計歳入歳出決算の認定 (以上賛成全員)
- ◎ 後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算の認定 (賛成12人、反対3人)
- ◎ 介護保険特別会計歳入歳出決算の認定
- ◎ 下水道事業特別会計歳入歳出決算の認定
- ◎ 水道事業会計剰余金の処分及び決算の認定 (以上賛成全員)

※議長は除く

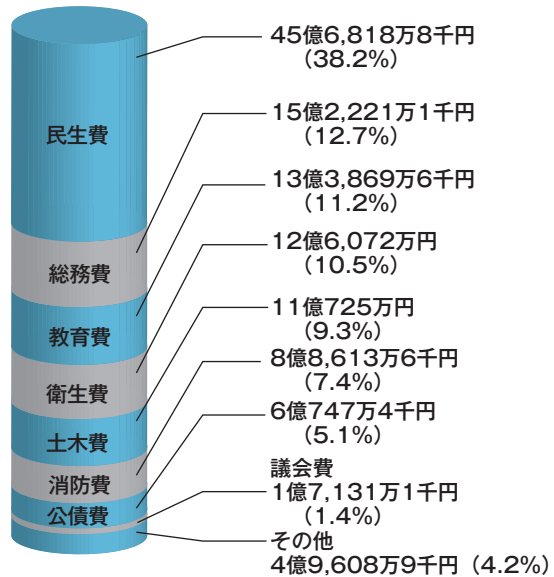
議会は、一会計年度の歳入歳出決算について、その内容を審議しなければなりません。

これは、予算が当該年度の予定的見積りであり、必ずしも当初の予測そのままに運営されるものではないため、具体的な事業内容や執行の実績・結果について、執行機関が議会の審議に付するもので、議会の監視により町の財政運営の適正化を図っているものです。

一般会計歳入構成



一般会計歳出目的別構成



討 論

最終日の26日には各会派による討論が行われましたので、内容の一部を紹介いたします。

※議会における「討論」とは議案に対する「賛成・反対」の旨とその理由を述べて、他の議員を自己の意思に賛同させることを目的とする発言のことです。

賛 成 愛政クラブ 小倉英嗣議員

全議案に対し、賛成の立場です。歳入では、町税の収入未済額、不納欠損額ともに年々減少しており、高く評価します。

歳出の総務費のLED防犯灯維持管理経費では、町内全ての防犯灯がLED化されたことで、以前2,000万円を超えていた経費が約864万円と半分以下となっており、1,200万円ほど削減できたことを高く評価します。

賛 成 新風あいかわ 佐藤茂議員

全議案に対し、賛成の立場です。性質別決算額を見ると、扶助費が前年度より5.5%増となり、構成比も19.8%となっています。普通建設事業費は51.2%の増となっていますが、義務的経費

賛 成 日本共産党愛川町議員団 井上博明議員

平成28年度決算の主だった財政指標を見ると、財政健全化法に基づく健全化判断比率状況で

を0.7%の増に抑え、歳出全体で約119億6,000万円におさめたところを評価します。

少子高齢化もいよいよ団塊の世代が70歳代となつてきました。限りある歳入の中で、扶助費の問題に真剣に取り組まなければならないときに来ていると感じています。

**成 公明党
賛 岸上敦子 議員**

全議案に対し、賛成の立場です。当初予算に町長から示された「健康子育て、教育に重点配分した積極型予算」として事業が行われており、当初計画された諸施策が着実に執行されていることを認めます。

町長は平成28年度の施政方針で、「町民の心を重んじ、常に町民サイドに立つてものを考え、迅速に実行する」と言われました。さらに、「今後とも常に全職員とともになお一層の研さんを積み、知

恵と行動によりあるべき方策を選択し、適時適切な対応を図っていく」と言われています。本決算を経て、今後の愛川町がさらに発展していくことを強く望むものです。

**成 みらい絆
賛 熊坂崇徳 議員**

全議案に対し、賛成の立場です。マーケティング事業費では、シテイパンフレット「ここが愛川町なんだ」を作成し、町内外に配架して、広く認知度の向上に努めたことを評価します。

また、山十郎プラスアクト事業では若者に人気のあるコスプレイベントを開催して町内外から多くの参加者や観覧者が本町に訪れたことを評価します。新たな客層が本町に来ていただくことは必要だと考えています。新しい発想を持って来年度のプラスアクト事業を行うよう期待しています。

陳情のゆくえ

件名	陳情者	付託先	審査結果
義務教育に係る国による財源確保と、35人以下学級の着実な実施・進行をはかり、教育の機会均等と水準の維持・向上並びにゆきとどいた教育の保障に関する陳情	相模原市中央区富士見6丁目6番13号 湘北教職員組合 執行委員長 古谷 大輔	教育民生 常任委員会	採 択
「薬害肝炎救済法の延長を求める意見書」の採択を求める陳情	横浜市中区山下町23番地 日土地山下町ビル2階 薬害肝炎弁護団・原告団 鈴木 順	教育民生 常任委員会	趣旨了承
「全国森林環境税の創設に関する意見書採択」に関する陳情	新潟県村上市三之町1番1号 全国森林環境税創設促進議員連盟 会長 板垣 一徳	総務建設 常任委員会	趣旨了承

義務教育に係る国による財源確保と、35人以下学級の着実な実施・進行をはかり、教育の機会均等と水準の維持・向上並びにゆきとどいた教育の保障を求める意見書

- 1 教育の機会均等、水準の維持・向上、無償制の維持に不可欠な義務教育費国庫負担制度を存続・拡充させること。また、学校事務職員・学校栄養職員をその対象から外さないこと。さらに、義務教育教科書無償制度を継続すること。
- 2 ゆきとどいた教育を実現するために、学級編成標準の見直しや教職員の定数改善、35人以下学級の着実な実施・進行など、教育環境を整備するための予算を確保・拡充すること。

内閣総理大臣・財務大臣・総務大臣・文部科学大臣 殿

◎義務教育に係る国による財源確保と、35人以下学級の着実な実施・進行をはかり、教育の機会均等と水準の維持・向上並びにゆきとどいた教育の保障を求める意見書の提出 (賛成全員)

意見書の提出を可決

※意見書の内容は要望事項のみ掲載しています

こいは どぶなりの

一般質問

デイサービスの 利用状況と課題



山中 正樹議員

問 町内デイサービス施設の利用状況と、課題について伺います。

要介護者の約26% サービスが画的

町長 11事業所の利用者数は406人で、要介護認定者数に占める割合は26.3%です。課題はサービスが画的との意見や、機能回復訓練を希望する声があります。高齡介護課長 機能回復訓練のデイサービスは2ヶ所で、指導員が状態を判断し、訓練を行っていません。各事業所とも利用者は増加傾向にあります。

選挙の投票率低迷 10代が高い理由は

問 憲法によれば、長及び議会議員を住民が直接選挙することが住民自治の根幹です。しかし、投票率が低迷しています。そこで、投票率の分析で、10代が高投票率である理由について伺います。

**政治への無関心等
主権者教育の成果**

町長 低投票率の要因は、政治への無関心をはじめ、自分1人が投票しなくても結果には影響がないうらやましいといった気持ち、選挙に対する意識の低下を招いているものと思っております。昨年度参議院選挙は、全体の投票率51%で、年齢を重ねるごとに高くなっています。選挙管理委員会事務局長 10代の投票率が高かった大きな要因は、政治参加の意味などを学習する主権者教育が行われたことと考えています。

地球温暖化防止 一般住宅も推進



馬場 司議員

問 地球温暖化が深刻な問題となっており、町でも企業の屋上緑化推進に努めてきました。今後、一般住宅に対しても緑化を推進していく考えについて伺います。

**費用対効果が課題
様々な方策を研究**

環境経済部長 屋上緑化の導入については、費用対効果の検証を行うとともに、技術革新等の動向を注視しながら、今後奨励金の効果等も含め、様々な方策について研究していきたいと考えています。

災害発生後の防災無線対応

問 7月に角田、田代などの約1,100世帯が停電し、防災行政無線で停電の放送をしました。災害発生後の再対応という意味で復旧の放送もしてほしいと思えますが、考えを伺います。

状況の把握に時間がかかってしまったとのこと。適切なフォロー放送ができなかったということですが、今後はこういった有事の際に、関係団体等と連携をとり、正確で迅速な情報の伝達に努めていきたいと考えています。

**関係団体等と連携
迅速情報に努める**

危機管理室長 停電の発生から復旧まで1時間22分かかり、東京電力によると、原因の究明及び

〈その他の質問事項〉
ふれあい戸別収集について



屋上緑化の例

町長 本町の図書館は、多くの方に利用していただき、生涯学習の拠点として、その役割は概ね果たされていると思います。新図書館は誰もが望むことですが、財源にも限りがあります。いまあるもので我慢していただく必要があると認識しています。

生涯学習の拠点 役割は概ね満足

問 今後の新図書館建設に向けた構想について、伺います。

新図書館建設 今後の構想は



渡辺 基議員



生涯学習拠点として大きな役割を持つ町の図書館

問 内容の見直しを行うマニュアルの充実
民生部長 町では支援者の方々が具体的に実践し

問 災害が発生した際に、自力で避難することが困難な方々に対して、どのように実効性のある避難支援を行うかが、重要な課題です。そこで、より具体的な手引書を作成する考えについて伺います。

災害支援に具体的手引書

ていただくための一般的な手立て等を「災害時要援護者避難支援マニュアル」にまとめ、これまでも適宜内容の見直しを行いながら、その充実を図っているところです。今後とも、地域の支援者をはじめ、関係各位の声もお聞きしながら、より分かりやすく使い勝手のよいマニュアルとなりますよう、努めてまいりますと考えています。

健康づくり事業 全行政区で実施
平成28年度からモデル地区健康づくり事業を実施してまいります。全ての行政区で積極的に取り組むべきと考えますが、今後の事業展開について伺います。

健康づくり事業 全行政区で実施



井上 博明議員

問 意識の高揚に効果 全町で展開目指す
町長 本事業の実施により、健康意識の高揚といった健康増進面の効果が出てきています。多くの方が参加したい事業となるよう、全町的な展開を目指していきたいと考えています。

問 多くの課題が山積 全身全霊を傾ける
町長 任期の最終年を迎えましたが、多くの町民の皆様の支え、叱咤激励

行政のかじ取り役の思い

があってこそ、これまでの行政運営ができたものと感じています。まだまだ多くの課題がある中で、これまで見てきた現実感をもとに、全身全霊を傾け、成し遂げたいと考えています。〈その他の質問事項〉横須賀水道旧半原水源



健康づくり事業を全町に



都市鉱山から作るメダル計画の考え

岸上 敦子議員

問 「都市鉱山からつくる！みんなのメダルプロジェクト」に対する考えについて伺います。

使用済み小型家電

回収箱設置しPR

町長 使用済みの小型家電のリサイクルが推進されるとともに、ごみの分別や資源化に対する町民皆様の意識啓発にもつながるものと考えます。このプロジェクトに賛同し、8月から役場本庁舎、半原・中津公民館に回収ボックスを設置しPRにも努めているところです。

下水道のイメージアップ

問

生活環境の改善、浸水の防止など、生活を支えるうえで必要不可欠なインフラ施設である下水道のイメージアップの取り組みについて伺います。

蓋の図柄に特徴等

新たな手法を検討

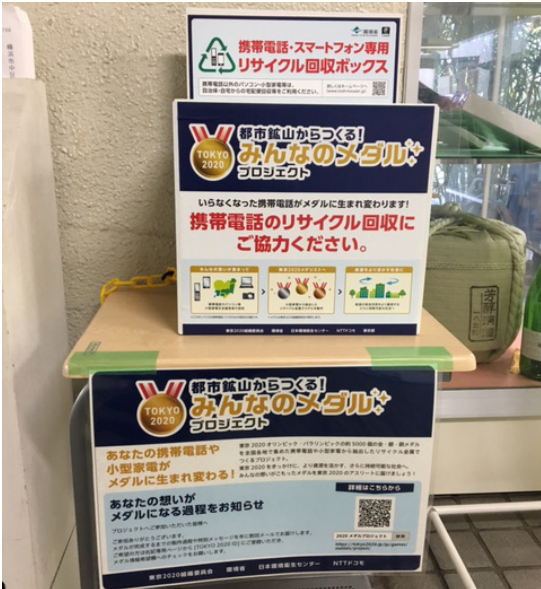
町長 町では、様々な機会を通じて理解と関心を高めています。

先日新聞に掲載された県内町村の観光特集では

観光PRに加えて、各町村のマンホール蓋の図柄が掲載されるなど、下水道事業のみならず、市町村のシティーセールスなどにも期待できることから、こうした動向を参考にしながら、マンホール

カードの導入も含め、新たなイメージアップの手法について検討していきたいと考えています。

〈その他の質問事項〉
婚姻届について



役場に設置されている回収箱

豪雨災害が増加予防の取り組み

小倉 英嗣議員

問

地球温暖化の影響で九州北部や秋田県豪雨等線状降水帯による豪雨災害が年々増加しています。

そこで、本町では災害予防の観点からどのような取り組みをされているか伺います。

計画的な雨水整備

想定区域図の改定

町長 豪雨災害の未然防止を図るための計画的な雨水整備をはじめ、県による中津川流域等の洪水浸水想定区域図の公表を受けて、ハザードマップの改定を行っているところです。



町内循環バスに車内広告掲載の検討を

町内循環バスに有料広告導入

問

本町では、有料広告事業に積極的に取り組んでいます。さらに町内循環バスなどの車内広告への導入を検討されているか伺います。

利用者が限定的

希望する企業無

町長 有料広告制度については、財源確保や企業活動支援のための、町ホームページのパナー広告や一般供用封筒のほか、昨年度から公用車両

に、本年度は広報あいかわに掲載しています。

これまでも町内循環バスへの車内有料広告の掲載について検討しましたが、町内循環バスは一定のコースを運行していることに加え、利用者の構成が限られていることなどから、広告効果が低く、広告掲載を希望する事業者もない状況です。

〈その他の質問事項〉
有害鳥獣対策について

町長 一度に繰り入れを解消するのは難しいと認識していますが、医療費が増え続けている中で、今後、様々な動向にも注視し、保険税率の段階的な引き上げも視野に入れながら、慎重に検討していきたいと考えています。

**医療費増加傾向
税率引き上げも視野**

問 一般会計からの繰り入れを解消した場合、保険税は1人あたり年間約20,800円増とのことですが、これに対し町の考えについて伺います。

**「国民健康保険税」
繰り入れ解消で
年間約2万円増**



小林 敬子議員



保育士の処遇改善を

町長 本年度から保育士の賃金アップの処遇改善をはじめ、職種や経験年数に応じた賃金上乘せのほか、各分野の研修を受講した者への処遇改善加算が実施され、給付費

**処遇改善の実施
今後、調査研究**

問 認定子ども園の保育士の処遇改善が必要と思われませんが、時給アップ分相当の助成金創設の考えについて伺います。

**「認定子ども園」
保育士への助成金創設**

に反映しています。町としてはこうした保育士等に対する処遇改善が国において実施され、安定した施設経営ができるものと認識しています。しかし、今後、町内の認定子ども園開所後の運営状況や、国などの動向を注視しながら、町独自の助成金制度の創設については調査研究していきたいと考えています。

その他の質問事項
地球温暖化対策について

に反映しています。町としてはこうした保育士等に対する処遇改善が国において実施され、安定した施設経営ができるものと認識しています。しかし、今後、町内の認定子ども園開所後の運営状況や、国などの動向を注視しながら、町独自の助成金制度の創設については調査研究していきたいと考えています。

町長 防災ラジオを通じて災害情報を放送する場合は、専用の配信局を設置する必要があります。また防災ラジオ購入経費も高額であるため、有償配布については考えていません。

**購入の経費が高額
現在考えていない**

問 火災発生など防災行政無線を主とした町民周知が行われていますが、場所や気象条件によっては全く聞こえませんか。そこで、防災ラジオの有償配布に対する町の考えについて伺います。

**防災ラジオ
有償配布**



阿部 隆之議員

**農地の利用集積
企業の経営の促進**

問 農地の利用集積や耕作放棄地の発生防止・解消対策や企業等の参入による先端技術を活用した農業経営の実現、圏央道が通っているメリットを最大限に生かすためにも、農業法人の誘致に更に力を入れるべきと考えます。そこで、農業法人誘致に対する町の考えについて伺います。

町長 本町では「農業等に関する企業の経営の促進」を掲げ、これまで、企業等への誘致活動をしてきているところです。今後とも、農地の利用集積を行い、本町の持つ首都圏近郊への流通の速達性や参入企業を持つ販売・流通ルートを活用した販路の拡大などを活かした企業の農業経営の促進を目指していきたいと考えています。

農業法人の誘致





児童・生徒用 防災ヘルメット

佐藤 りえ議員

問 災害による被害の未然防止のため、平時時において万全な防災策の必要があることから児童・生徒用の防災ヘルメットの整備について伺います。

**運用面に課題あり
整備の検討はなし**

教育長 運用面において課題があるものと認識しており、現在のところ防災ヘルメットの整備については検討していませんが、学校と連携をしながら、他市町村での実施状況等も踏まえ研究していきたいと考えています。

認知症サポーターの養成

問 新たな目標設定年度を2020年度末と定めた新オレンジプランの改定が、7月5日に発表されました。本町での認知症サポーター養成の状況、今後の取り組みについて伺います。

**各種団体等が受講
理解の啓発続ける**
町長 平成21年度から地域包括支援センターの職員などを講師として認知症サポーター養成講座を

開催しています。民生児童委員協議会をはじめ様々な団体の他にボランティアなど本年7月末時点で、延べ651名の方が受講されています。引き続き出前講座など活用しながら、多くの皆さんに認知症に対する理解を深めていただけるよう啓発を続けていきたいと考えています。

＜その他の質問事項＞
早期のピロリ菌検査と除菌の導入について



認知症サポーター養成講座のようす

給食親子方式 研究会の今後



鈴木 信一議員

問 小学校の調理室を活用した親子方式を導入するための中学校給食町内研究会が設置されました。そこで、今後のスケジュールについて伺います。

**課題の整理と研究
視察で情報収集も**

教育長 現在のデリバリー方式における中学校給食の課題を改善するために、抽出された課題の整理と解決方法等について研究を進めるとともに、先進自治体の視察による情報収集などを行います。



給食親子方式の研究がスタート

介護保険料基準額の算定

問 介護保険制度は3年ごとに改正され、現在第7期の計画策定が進められています。保険料については、標準基準額は第1期当初から比べれば約2倍になっており、サービスは切り捨てられ保険料は上がっています。

民生部長 高齢化の進展に伴う介護認定者数の増加をはじめ、第1号保険者の保険料引き上げ、地域区分の見直しなどにより給付費の増加が見込まれます。

そこで、第7期事業計画にあたって、保険料基準額の算定について町の考えを伺います。

**保険料増抑える為
事業運営基金活用**

しかしながら、保険料の上昇を抑えるために、介護保険事業運営基金の活用や、負担能力に応じたきめ細かい多段階設定に心がけ、取り組んでいきたいと考えています。

＜その他の質問事項＞
平和事業について

町長 空き事業所などを活用した小規模保育施設の開設意思を示している保育事業所もあり、新たな保育の受け皿が整備されるものと期待しています。今後も必要な支援などをを行い、待機児童の解消に努めていきたいと考えています。

新たな受け皿整備 今後も支援努める

問 待機児童の解消を目指すため、保育園だけでなく、さらに保育の施設を充実させることについて考えを伺います。

待機児童の解消 保育施設の充実



木下 眞樹子議員



多くの人に利用されているトリム広場

町長 平成24年度に大型のコンビネーション遊具の新設など、広く町民皆

H24年度に整備済 環境づくり努める

努めていきたいと考えています。

問 第1号公園にはトリム広場があります。毎日、多くの利用者が訪れ、大変にぎわっているように見受けられますが、広場を拡充する考えについて伺います。

様の憩いの場、健康づくりの場としてご利用いただけるよう、再整備を行ったところです。

1号公園トリム広場拡充

現在は、広場を拡充することはなかなか難しいですが、今後とも快適に安心してトリム広場の利用ができるように、町民皆様の声も聞き、また、利用状況を注視しながら、良好な環境づくりに努めていきたいと考えています。

町長 ご当地ナンバーについては、県内では14市町が導入をしており、走る広告塔として広くPRすることができるといったメリットもあることから、色々なアイデアを模索しながら前向きに検討したいと考えています。

県内14市町が導入 前向きに検討する

問 町の知名度アップを図るため、バイクのナンバープレート「あいちゃん」を活用する考えについて伺います。

バイクのナンバー あいちゃんを活用



熊坂 崇徳議員

町長 「あいちゃん」の平成28年度の活動状況は「つつじまつり」をはじめ、テレビ神奈川の「あっぱれ神奈川大行進」への

イベントの盛上げ 町内外で出演する

問 「あいちゃん」のお披露目から6年となり、町民に広く知れ渡り、町外でも十分に活用をしています。活動状況と今後の予定について伺います。

「観光キャラクターあいちゃん」 活動状況と今後の予定



さまざまな方面で活躍中のあいちゃん

町長 「あいちゃん」の平成28年度の活動状況は「あっぱれ神奈川大行進」への出演など、町民との触れ合いを通じてイベントを盛り上げ、町内外で67件の出演となりました。今年度はすでに23件出演しており、今後は神奈川県観光協会や、近隣自治体などの広域的なイベントに出演する予定となっています。

その他の質問事項

教師による不祥事について

個人総括質疑

4日目の9月8日は、補正予算議案に対し、渡辺基議員、岸上敦子議員、馬場司議員、小林敬子議員、井上博明議員が次の各事業費増額等の詳細について質疑を行いました。

〈一般会計〉

既存小規模福祉施設スプリンクラー等整備事業費

交通施策推進事業費増額

道路新設改良舗装事業費増額

災害予防対策事業費増額

文化会館維持管理経費増額

〈下水道事業特別会計〉

雨水整備事業費増額

会派代表総括質疑

5日目の9月12日は、平成28年度決算議案に対し、会派代表総括質疑を行いました。内容の一部を紹介します。

愛政クラブ

(山中正樹議員)

問 町税が前年度と比べて0.8%減となった要因について

町長 固定資産税現年課税分は、1.4%の増となり、軽自動車税現年課税分は、20.8%の増となったものです。

一方で、法人町民税現年課税分では、一部大手企業の業績の低迷などに伴い、16.4%の減となったものです。

よって、固定資産税、軽自動車税に増額はあったものの、法人町民税の減収が大きく影響したことから、町税全体では前年度に比べ0.8%の減となったものです。

問 民生費の構成比が38.2%と高比率を更新しました。中長期的にどうみているか

町長 10年前の平成18年度と比較すると、構成比では16.5ポイントの増となっています。この要

日本共産党愛川町議員団(鈴木信一議員)

問 地方債が大幅に増額となった理由について

町長 従前から町債が持つ世代間負担の公平性、年度間の財政調整といった機能を鑑み、将来の財政運営に十分配慮したうえで、緊急度や優先度を踏まえ、短期に償還額の範囲内の借入れを原則として、その活用を図っています。

平成28年度は、道路整備や橋梁維持補修事業、消防指令台整備事業、宮本児童館建設事業などに町債を活用しました。

平成28年度は、道路整備や橋梁維持補修事業、消防指令台整備事業、宮本児童館建設事業などに町債を活用しました。

平成28年度は、道路整備や橋梁維持補修事業、消防指令台整備事業、宮本児童館建設事業などに町債を活用しました。

平成28年度は、道路整備や橋梁維持補修事業、消防指令台整備事業、宮本児童館建設事業などに町債を活用しました。

平成28年度は、道路整備や橋梁維持補修事業、消防指令台整備事業、宮本児童館建設事業などに町債を活用しました。



保育園にも「愛川キエーロ」を設置して生ゴミの減量に取り組んでいます

総額では5億5,680万円となり、前年度と比べ、2億640万円の増額となったものです。

問 ごみ減量化・再資源化推進事業費の成果と課題について

町長 平成28年度の年間のごみ総排出量は、前年度と比較して、227トンの減量化が図られました。成果の要因は、剪定枝が燃やすごみの日に収集所に出された際に違反シールを貼り、回収しないことを徹底するなど、ごみの減量化等を図ったほか「愛川キエーロ」の購入に対する助成制度をスタートし、普及促進に努めているところです。

また、燃やすごみの中に含まれている資源化できる紙類の分別をいかに浸透させていくかが1つの課題として捉えています。

新風あいかわ (阿部隆之議員)

問 積立金残高が約5,500万円減となった理由について

町長 ハートピア基金、庁舎周辺公共施設整備基金、文化・スポーツ振興基金は、利子分等を積み立て、残高はそれぞれ微増となっています。

また、財政調整基金は、各種事業の財源に充てるため、7,300万円余りを取り崩し、積み立てについては、町税などの決算見込額が当初予算を下回る状況の中で、決算剰余金見込額に余裕がなかったことから、町有地の売却益や寄附金のみにとどまったため、基金全体で減額となったものです。

問 町税の不納欠損額と収入未済額が前年との比較で減少している理由について

町長 不納欠損額は、前年度と比較すると、約

2,331万円の減となり、主な要因は、収入未済となったいた不良債権をおおむね整理することができたことによるものです。

収入未済額は、前年度と比較すると、約5,500万円の減となり、主な要因は、納税意識の低い滞納者に対し、給与などの債権の差し押さえを執行したほかに、相模原市との不動産共同購買など、積極的な滞納整理に取り組んだことによるものです。

公明党

問 教育費の光熱水費が前年度より約628万円減額となった要因について

町長 小・中学校や文化施設、体育施設等の光熱水費について、電気使用量が全体で約460万円の減額となっています。

この要因は、昨年3月からの新電力会社との契約によって、小・中学校をはじめ、文化会館や第1号公園体育館などの電気料金が大きく減額となったものです。

このほか、上下水道使



小中学校でも節電に取り組み中

(佐藤りえ議員)

用量についても、学校や公共施設における節水意識の向上などにより、全体で約168万円の減額となっています。

問 介護予防事業拡大の成果について

町長 新たな事業として、身近な地域で住民が主体となって行う「いきいき100歳体操」を実施し、老人クラブを主体として地域の集会所などで実践されています。

次に、高齢者の介護予防と社会参加を目的とした、「愛川・ささえあいボランティアポイント事業」については、本年8月末現在、47名の方が登録され、町内の介護保険施設などでボランティア活動を行っていただいています。

これらの事業により、介護予防に対する成果が徐々に得られているものと認識しています。

みらい絆

(木下眞樹子議員)

問 一般寄附金の詳細について

町長 まず、町内の2つの団体から合計で130万円の寄附をいただいたものです。

次に、ふるさと納税分

については、昨年4月から受付を開始し、全体で全国35の都道府県の方から412件、約535万円の寄附がありました。このうち、使途を指定しない一般寄附金が、329件、428万円ありました。

問 国民健康保険税が前年度と比べ減収となった主な要因について

国保の被保険者数については、後期高齢者医療制度へ移行される方が増えていることから、年々減少しています。

加えて、昨年10月から短時間労働者に対する社会保険の適用が拡大され、前年と比較すると加

入者が676人減となっています。

こうしたことなどから、国民健康保険税全体では、前年度と比較して約7,224万円の減となっています。



ホームページでも積極的にふるさと納税をPR

常任委員会での審査

平成28年度事業の決算審議をより詳細に行うため、各常任委員会で8月に現地調査、9月15日から21日まで各事業に対する質疑を行いました。内容の一部を紹介します。

総務建設常任委員会

8月10日(木)に、愛川受水池拡張整備工事、隠川観光トイレ建設工事等、10箇所での現地調査を実施しました。

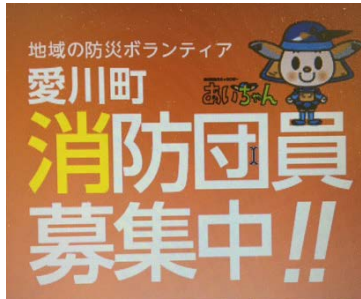


隠川観光トイレ建設工事を調査

問 昨年と比べて消防団員数が減少している主な要因について

答 平成28年度は191名で12名の減となっております。団員の確保については、年間を通して現役団員を中心に地域のご協力をいただながら勧め

ているところですが、退団される団員が新入団員を上回り、団員の循環が梗塞してしまっていることや、消防団員になり得る年齢人口数に地域差が見られ、物理的に団員の確保が困難になっていることなどが大きな要因であると考えています。



消防団員募集しています!

問 ツーリズム推進事業費の成果と課題について

答 成果については、「あいちやんぐッズ」の販売や「あいちやんの着ぐるみ」派遣、首都圏にお住まいの方を対象に宮ヶ瀬ダムなどの観光資源を周遊するバスツアー「あいかわツーリズム事業」などを実施することで、

宮ヶ瀬ダムなど観光スポットへの集客が図られたものと考えています。

一方、課題としては町外にお住まいの方々にも、また本町を訪れたいと思っただけできるよう、宮ヶ瀬ダム周辺振興財団など関係機関と広域的な連携を図っていくことが重要であるものと考えています。

教育民生常任委員会

8月17日(木)に、春日台保育園プール塗装工事、愛川聖苑火葬炉設備改修工事等、6箇所の現地調査を実施しました。



春日台保育園プール塗装工事を調査

問 「健康のまち宣言」関係経費の詳細について

答 「健康のまち宣言」は、健康でいきいきと暮らせる町づくりを目指し、町民総ぐるみで自主的な健康増進の取り組みを進めるため策定したものです。町民の皆さんに広くこの宣言内容を公表するため、昨年7月3日に「健康のまち宣言記念式典」を開催しました。

経費の詳細としては、講演会の講師をお招きした委託料、健康プラザ前に設置した健康宣言サイン(宣言文の印刷された銘板)等の看板製作委託料など、合計で120万5,302円となっております。

問 放課後学習あすなろ教室事業の効果と課題について

答 昨年度より、小学校3・4年生の希望する児童を対象として、週1回、各小学校の教室等で国語と算数を中心として、教

育委員会作成のオリジナルプリントを活用し学習指導を行ったもので、164名の児童が年間を通して学習しました。

効果については、「算数の苦手意識が無くなった」など、子どもたちの成長した姿を示す成果が多数寄せられました。

課題については、学力と教室に通う動機に大きな差がある子どもたちが限られた時間の中で、一緒に学ぶことの難しさがあったことがあげられます。



健康プラザ前の健康宣言サイン

意見交換会を実施

町議会では、「町民に開かれた議会」を推進するため、意見交換会を実施しました。

貴重なご意見、ご提案をいただき、ありがとうございました。

■町社会福祉協議会との意見交換会

開催日 6月21日(水)

場所 町福祉センター
10人参加

テーマ

- ・ 議会活動状況等報告
- ・ 町社会福祉協議会活動状況等報告
- ・ 意見交換



他市町村議会が視察のため本町を訪れました

神奈川県 大井町

視察日 7月25日(火)

来町者

大井町議会

広報常任委員会

細田 勝治 委員長

ほか全9名

視察内容

議会インターネット中継について
議会ホームページについて



茨城県 美浦村

視察日 10月20日(金)

来町者

美浦村議会

厚生文教常任委員会

林 昌子 委員長

ほか全12名

視察内容

「愛川健康のまち宣言」を軸に町民総ぐるみで健康づくりを進める取り組みについて



河川美化広報を行いました



8月12日(土)に夏季河川美化広報活動として、中津川河川敷(隠川・田代・八菅)への来訪客に対して、ゴミの持ち帰りについてご協力を呼びかけるとともに、河川美化清掃を行いました。

議会だよりの写真を募集しています

愛川町議会では、「あいかわ議会だより」の表紙や紙面に掲載する写真を募集しています。

町内の風景・風物など季節の写真、子どもが遊ぶ姿や元気な赤ちゃんの写真など、あなたの写真で表紙を飾りませんか。

■応募資格 町内在住または在勤の方

■作品規格 撮影者自身に著作権のある未発表のオリジナル作品で、縦・横どちらでも結構です。データの場合は、jpg形式で、データ容量は2メガ以上5メガ以下

プリントの場合は、2Lサイズ以上

■応募方法 撮影者の住所、氏名、電話番号、撮影場所、撮影年月日、作品のテーマ、その説明を添えて、データの場合は電子メールで、プリント写真の場合は郵送でお送りください。(随時受付)

【電子メールアドレス】

rikai@town.aikawa.

canagawa.jp

【郵便送付先住所】

〒243-0392

愛川町角田251-1

愛川町役場議会事務局宛

■注意事項

・人物が特定できる場合は、本人の承諾を得てください。

・応募作品は、原則として返却しません。

・編集委員会で協議した結果、応募作品を掲載できない場合があります。

・編集上、写真をトリミングする場合があります。

・採用された写真の著作権は、町に帰属します。

・採用された写真は、応募者の氏名を表紙に掲載します。希望しない場合は応募の際に「氏名の掲載は辞退します」などと明記してください。

・採用者への謝礼はありません。

・採用者への謝礼はありません。

ご覧ください
会議録

議会だよりは、紙面の都合により、発言の一部を掲載しています。

詳しくは下記の町公共施設に備え付けてある「会議録」をご覧ください。

なお、9月定例会の会議録は、12月中には備え付けができる予定です。

また、町議会のホームページで平成11年以降の会議録がご覧になれます。

次回定例会

次回、12月定例会は下表のとおりです。会議はいつでも午前9時から開会します。また、本定例会の運営を協議する議会運営委員会は、11月21日(火)に開催予定です。

日程が変更になる場合もありますので、詳細は議会事務局にお問い合わせください。町ホームページでもご覧になります。

平成29年 第4回12月定例会日程 (予定)

月	日	曜	会議名
12	1	金	本会議 (提出議案の説明)
	5	火	本会議 (一般質問)
	6	水	本会議 (一般質問)
	8	金	総務建設常任委員会
	11	月	教育民生常任委員会
	15	金	本会議 (総括質疑・討論・採決)

会議録設置施設

- 役場町政情報コーナー
- 福祉センター
- 文化会館図書館
- 農村環境改善センター
- 半原公民館
- 中津公民館

議会だよりは、録音ボランティアグループ「かえでの会」のご協力により、視覚障害者に音声テープ化されています。

ご希望の方は、社会福祉協議会へご連絡ください。
(内線3792)

ぜひ傍聴にお越しください!

第5回 議会クイズ

- 問1 9月定例会では、議員提出議案は何件提出されたでしょうか?
① 1件 ② 2件 ③ 5件
- 問2 10月臨時会で委員会条例が改正されました。これにより新設された委員会はなんのでしょうか?
① 総務建設常任委員会 ② 教育民生常任委員会 ③ 広報広聴常任委員会
- 問3 健康推進事業を目的に10月20日本町を視察に訪れたのは、どこの議会だったのでしょうか?
① 茨城県美浦村議会 ② 神奈川県清川村議会 ③ 山梨県道志村議会

《応募方法》 町内在住の方で、1人1通に限ります。答え・住所・氏名・年齢・電話番号、また、必ず議会だよりの感想をご記入のうえ、下記あて先のいずれかの方法で応募してください。

《しめきり》 11月30日(木) (郵送の場合は当日消印有効)

《あて先》 ●はがきの場合 〒243-0392 角田251-1 議会事務局
●ファクスの場合 046-286-5021
●電子メールの場合 gikai@town.aikawa.kanagawa.jp

☆正解と当選者は次号で発表します。



編集後記

9月定例会では、平成28年度事業の決算審議を中心に一般質問、個人・会派代表質疑など活発な議論を行い、議会会議規則の改正も行いました。また、臨時会では議会委員会条例の改正を行い、さらなる広報広聴活動の充実を図ってまいります。

今号で、現在の議会、たより編集委員会での発行は最後となります。2年間ありがとうございました。次号から新しい体制になりますが、今後とも、皆様の声を聞き、より開かれた議会を目指し、委員一同力を尽くしてまいります。

- 議会だより編集委員会
- 委員長 馬場 司
 - 副委員長 熊坂 崇徳
 - 委員 阿部 隆之
 - 委員 岸上 敦子
 - 委員 鈴木 信一
 - 委員 山中 正樹